

【計画】2-1. 夏季の高温・少雨による茶栽培への影響調査

【分野：農業、実際に調査を行う自治体（波及可能な自治体）：静岡県（関東地域全域）】

地域適応コンソーシアム関東地域事業

■ 目的

- 関東地域では、静岡県と埼玉県における茶の生産量が全国の約4割を占めるほか、新潟県や茨城県等にも茶の栽培地が分布している。近年、生育期間（夏季）の高温や少雨による茶の生育等への影響が懸念されており、影響の評価や対策の検討が必要。
- 本調査では、静岡県をモデルとして夏季の気候変動が茶栽培に与える影響の評価を行うとともに、適応策の検討を行う。

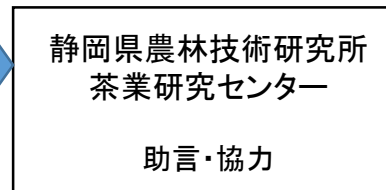
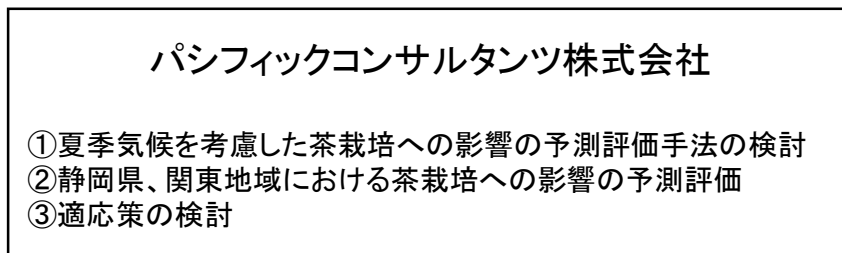
■ 調査計画

時期	調査の内容
H29年度	①夏季気候を考慮した茶栽培への影響の予測評価手法の検討 ①-1 既存文献・データの入手 ①-2 静岡県をモデルとした予測評価手法の検討
H30年度	②関東地域における茶栽培への影響の予測評価の実施 ②-1 現状における栽培への影響の評価 ②-2 将来の栽培への影響の予測評価
H31年度	③適応策の検討 ③-1 静岡県における適応策の検討 ③-2 関東全域における適応策の検討

全国管理受託者から提供される気候変動データを適宜活用。

全国管理受託者から提供される気候変動データを適宜活用。

■ 実施体制



茶の栽培地
出典：富士市提供